

# 陽東地区の富山市への L R T 体験見学会 報告書



平成30年2月22日 開催

## ◎見学会の概要

(1)日 程 平成30年2月22日(木曜日)

(2)人 数 12名

### (3)見学テーマ

宇都宮市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりに欠かすことのできない「公共交通ネットワーク」の基軸となるLRT(次世代型路面電車システム)事業について、実際にLRT車両の乗り・降りの体験などを通じて、参加者の理解を深めてもらう。

また、LRTと鉄道駅やバス停留所、駐車場などの乗り継ぎ施設や連携の様子を見学し、これからのまちづくりに活かしてもらう。

### (4)行 程

JR宇都宮駅構内 8:45 集合		
やまびこ208	かがやき507	
JR宇都宮駅	JR大宮駅	JR富山駅
9:06発	9:34着/9:46発	11:34着
.....【自由昼食】.....		
富山市内環状線		
.....富山駅	+++++グランドプラザ前【施設見学】	+++++富山駅
13:06発	13:20着/13:32発	13:44着
富山ライトレール		
.....富山駅北	+++++岩瀬浜【施設見学】	.....岩瀬カナル会館
14:00頃	14:24着	(トイレ休憩等)
富山ライトレール 富山ライトレール		
.....岩瀬浜	+++++蓮町【見学】	+++++富山駅北
15:01発	15:06着/15:21発	15:40着
.....富山市公共交通まちづくりインフォメーションセンター【見学】.....		
15:45~16:05		
.....富山駅前交通広場【自由見学】	.....	16:50
約50分		富山駅新幹線
		中央改札口集合
かがやき512 やまびこ217		
.....JR富山駅	JR大宮駅	JR宇都宮駅
17:06発	18:54着/19:02発	19:29着/19:40解散

## ◎見学会の様子（写真）



●当日の富山は、雪が残るものの快晴に恵まれました。写真はJ R 富山駅前の交通広場で、画面奥がL R Tの架線柱になります。



グランドプラザ前停留場  
3



●写真左側が乗車したLRT車両です。車内は平らで、吊り革は利用者の身長差を考え、いろいろな長さが用意されていました。



●LRT停留場から街なか交流広場や中心市街地を視察しました。





●路線バスとつながる岩瀬浜停留場です。当日は少しバスの到着が遅れましたが、無事に接続しました。停留場の作り込みについても富山ライトレール(株)の方から説明をいただきました。



●引き続き、富山ライトレール計画や模型などを展示する公共交通インフォメーションセンターで説明をいただきました。

## ◎参加者の発見・感想

(テーマ1) LRTを実際に体験してきたからこそ伝えたいLRTの魅力について ※参加者の平均点を記載	
(1)車両の乗り降り	<p>難しい 1 2 3 4 5 優しい</p> <p>4.6 ★</p>
(2)車内の乗り心地	<p>悪い 1 2 3 4 5 良い</p> <p>3.6 ★</p>
(3)車窓の大きさ等（車内の視点）	<p>悪い 1 2 3 4 5 良い</p> <p>4.8 ★</p>
(4)車両デザイン	<p>格好悪い 1 2 3 4 5 格好良い</p> <p>4.3 ★</p>
(5)運行間隔（待ち時間）	<p>時刻表が必要 1 2 3 4 5 気にならない</p> <p>4.5 ★</p>
(6)電車接近などの案内情報	<p>役立たない 1 2 3 4 5 役立つ</p> <p>3.9 ★</p>
(7)交通ICカードによる支払い	<p>不便 1 2 3 4 5 便利</p> <p>4.6 ★</p>



(8)歩行者や自転車への安全対策		
配慮されて いない	1      2      3      4.0      5 	配慮されて いる
(9)バスや自転車などとの乗り継ぎ		
不便	1      2      3      4.2      5 	便利
(10)その他（自由記載）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (7)の I C カードについて富山は他の交通 I C カードが使用できない（専用）。</li> <li>・ 車内通路面と座席面との段差（15cm位）が気になった。</li> <li>・ ポートラムでは車やバスとの連携が良くなさそう（駐車場が少ない、接続するバスも少なそう）。</li> <li>・ 駐輪場がポートラム各駅にあるのは便利</li> <li>・ イメージしていた印象よりよかった。</li> <li>・ とても乗りやすく、窓も大きくて、明るく、良い印象だった。宇都宮に走る日が待ち遠しいです。</li> <li>・ 乗り場でのスピーカーでの案内があり良かった。</li> <li>・ 運行間隔が短く、5～10分、利用しやすい。</li> <li>・ 市の発展、人口減の歯止めにもなる。</li> <li>・ 二人がけ椅子、狭い。長椅子が良いのでは。</li> <li>・ 間隔が短くて便利です。車内がせまく感じた。</li> <li>・ 思っていたものより少人数。</li> </ul>		

(テーマ2)

富山市内環状線や富山ライトレールを体験して、芳賀・宇都宮のLRT整備や運営に反映したい点

- ・ 車内の床、フラットの方が便利。
- ・ 清原に人が集まれる施設が必要である。
- ・ ベルモール停留所とベルモール間に屋根つきのプロムナードの設置
- ・ 鬼怒川周辺に人を引きつける施設を！！  
通勤・通学他だけでは魅力がない。
- ・ 電車はベンチシートの方が多くの方が移動できるのでは。タイヤハウスの部分の段差が気になる。
- ・ 乗り場と交差点信号を同期すると良い。車内のスペースをもっと確保する必要あり。ICカードの活用。
- ・ 電車の本数がとても多くて（富山駅では）活気があふれているように見えた。沿線の学校から定期的に乗客があり、良いと思った。路面電車が人々の足として、日常化が宇都宮ではできるのか、不安に感じた。
- ・ ライトレールの整備、運営が良く出来ていた。
- ・ 富山ライトレール（セントラム）は道路幅が狭いところは1車線で自動車車線との関係が配慮されている。宇都宮LRTではベルモールに至るまでの区間で道路幅に狭いところがあるが、LRT2車線で自動車交通はうまくいくのか不安。想定外の問題はおこらないだろうか。
- ・ 電車騒音をなるべく低くする工夫をしてほしい。
- ・ バスとの連携を十分やってほしい（東西LRTと南北バス線を作り連携）。
- ・ 市内環状線はよい。宇都宮も市内環状線ができないか？

<p>(テーマ3)</p> <p>今回訪れた場所で特に強い印象を受けたところとその理由</p> <p>※ 人数は複数回答を含みます。</p>
<p>○富山駅前停留場（富山市内環状線）・・・8人</p> <p>【特徴】歩行者や自転車への安全対策、JR駅との連携</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨にぬれずに乗れる、駅構内で乗れること</li> <li>・ 利用者別にはっきり乗降場が分かれている。</li> <li>・ JR等の乗り継ぎは良いが宇都宮の場合は難しい面もあった。</li> <li>・ 駅前が広く、市内の道も広く整備されていて、きれいな街だと思った。新幹線からの連絡も良く、南口と北口が繋がれば、もっと良くなると思った。</li> <li>・ 見学した限りでは、信号の時間間隔が十分とられており、また、自動車も全て徐行運転してマナーが良好。比べて宇都宮の自動車運転のマナーがよくないことを改めて認識し直しました。</li> <li>・ 新幹線改札とLRT乗り場が同一レベルで、しかも近く、大変分かりやすい。 広場も見通しが良く、明るく、感じがよい（タクシー、バスもどこにあるかすぐにわかる）。</li> <li>・ 乗り継ぎとJRとの連携（車、バス、自転車、他の交通）。 JR他の交通との連携がよい。</li> </ul>
<p>○蓮町停留場（富山ライトレール）・・・3人</p> <p>【特徴】フィーダーバスとの乗り継ぎ、利用者用の駐車場の設置</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の土地に駐車場を設けたことはすばらしい。宇都宮もぜひ！！</li> <li>・ 自転車、バス、車との連携がよい。</li> <li>・ 乗り継ぎが便利、「待つ」という心理的な面がない。</li> </ul>
<p>○グランドプラザ前停留場（富山市内環状線）・・・2人</p> <p>【特徴】まちなか賑わい拠点「グランドプラザ」との連携</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線に人が集まる所がよい。</li> </ul>

○岩瀬浜停留場（富山ライトレール）・・・1人

【特徴】フィーダーバスとの乗り継ぎ施設

【理由】

- ・ 自転車、バス、車との連携がよい。
- ・ 乗り継ぎが便利、「待つ」という心理的な面がない。

(テーマ4)

今回の体験見学会を通じて感じた感想や見つけた発見

- ・ 富山駅からのライトレールの乗り継ぎに施設が良かった。  
ライトレールが大変きれい。
- ・ とても便利であるが、いかにして利用者を増やしていけるか。
- ・ 思ったより街にとけ込んでいた。
- ・ 市外、県外からの集客の為の場をつくる必要があると感じた。
- ・ 宇都宮市も早く駅西を通してほしい。東側だけではもったいない。
- ・ 宇都宮は料金が一定額ではないので、信用乗降車を実施してほしい。
- ・ 希望と現実は大変です。市の担当の方、頑張ってください。負けるなよ。  
今回参加させていただき大変良かったです。ありがとうございました。
- ・ 街づくりあつてのLRTだと思う。LRT沿線には人が利用したいと思うような施設の整備が必要だろう（富山ポータルムでは沿線の開発がイマイチ）。
- ・ 市電の長い歴史をもつ富山市と、市電のない、これからの歴史のない宇都宮市との差に少し不安があります。先輩のよいところを十二分に取り入れてもらいたい。
- ・ 乗り心地の良い、安全性が良い。
- ・ 富山駅前が広いからか、明るいきれいな街だと思った。
- ・ ライトレールが市民の足として利用されている様子が良く分かった。  
行き先も多数あり、路線に応じて乗っている年配層や混み具合は違うだろうが、定着している様子が良く分かった。
- ・ 富山市内は道路幅、歩道幅、建物も整然と整理されていて美しい街並だった。都市計画が良くできていると思う。
- ・ 富山市の都市計画がしっかりしている。都市のアイデンティティーを感じました。
- ・ 人口減少を見据えたまちづくり、しっかりとやらないとまずいと思います。

## ◎富山ライトレール・ポータルラムを視察して

陽東地区まちづくり協議会

富山市を視察して、宇都宮市への導入イメージが、多少なりとも、理解できたと思います。

街の姿（交通網、公共施設の配置、緑、賑わいなど）は、そこに住む市民の声を反映して形成されていきます。富山市はその点、モデルのような都市です。

これに対して、これまでの宇都宮市は、どうだったでしょうか。

LRT を軸とした公共交通網の整備により、足が不自由な方も、障がい者の方も、老若男女すべての市民が目的地にスムーズに移動できるようになる。交通システムをベースに、生活に必要な商店や病院が身近な所に配置される街（ネットワーク型コンパクトシティ）が形成され、宇都宮市が目指す新たな都市が徐々に姿を現していく。

人間が街の片隅に追いやられている車が主役の都市から、車の機能を活かしながら、公共交通網が張り巡らされた新たな都市を創造していく必要があるのではないのでしょうか。

そのためには、私たち市民が、声を発していかなければならない、変わっていかなければならない、そして市民としての役割を果たしていかなければならない、と思います。